



# 議会だより

## 市勢進展の決意も新たに



越前市議会第1期議員の任期は在任特例により平成18年7月29日までです。  
特例の期間後は、最初の一般選挙から議員定数は24人に削減されます。

武生市・今立町議員合同研修会（9月13日開催）

### 主 な 内 容

越前市議会が誕生！ 全議員紹介 2～3頁

9月定例会 旧武生市・旧今立町で最後の議会

#### 武生市議会

予算審議・条例審議 4頁  
一般質問 5～6頁  
委員会審査など 6頁  
決算特別委員会報告 9頁

#### 今立町議会

予算審議・議案審議 7頁  
委員会審査など 8頁  
決算審査特別委員会報告 9頁

# 越前市議会議員(42名)

H17.10.1現在

五十音順

- ① 住所
- ② 電話番号
- ③ 当選回数



城戸茂夫

- ① 京町一丁目2-12
- ② 22-8881
- ③ 1回



蔭山千代治

- ① 千合谷町25-31
- ② 28-1312
- ③ 4回



井上建次

- ① 山室町53-12
- ② 43-0518
- ③ 1回



嵐等

- ① 北山町22-19
- ② 24-0423
- ③ 4回



木野勤治

- ① 別印町4-8
- ② 42-1434
- ③ 2回



片粕正二郎

- ① 月見町63
- ② 23-3247
- ③ 5回



上田伸治

- ① 粟田部町70-3-12
- ② 43-0640
- ③ 4回



安立里美

- ① 御幸町14-18
- ② 24-4880
- ③ 1回



佐々木富基

- ① 芝原四丁目9-20
- ② 23-0249
- ③ 2回



金子芳巧

- ① 今宿町4-8
- ② 24-2312
- ③ 5回



上田忠男

- ① 新町21
- ② 22-7059
- ③ 4回



池田芳男

- ① 元町2-16
- ② 22-7656
- ③ 2回



関正美

- ① あおば町6-14
- ② 22-6721
- ③ 3回



川崎悟司

- ① 矢船町4-1
- ② 22-3242
- ③ 1回



上山直行

- ① 長谷町28-2
- ② 42-1408
- ③ 3回



伊藤藤夫

- ① 富士見が丘2-7-4
- ② 24-2219
- ③ 5回



題佛臣一

- ① 余田町41-15
- ② 21-2268
- ③ 1回



関利英子

- ① 平和町12-19
- ② 23-4403
- ③ 1回



北野光夫

- ① 村国二丁目8-33
- ② 24-2375
- ③ 2回



小形善信

- ① 塚町31-9
- ② 22-3118
- ③ 1回



伊藤康司

- ① 新在家町2-54
- ② 42-2060
- ③ 2回

# よろしくお願ひします

五十音順

- ① 住所
- ② 電話番号
- ③ 当選回数



- ① 文京二丁目15-5
- ② 24-4652
- ③ 7回



- ① 中津山町22-1
- ② 43-1567
- ③ 2回



- ① 北町45-60-1
- ② 23-0741
- ③ 2回



- ① 広瀬町98-9
- ② 22-5568
- ③ 2回



- ① 不老町15-21-7
- ② 42-3630
- ③ 3回



- ① 国高三丁目12-9
- ② 23-8485
- ③ 4回



- ① 葛岡町6-7
- ② 21-1986
- ③ 4回



- ① 西尾町45-79
- ② 27-2576
- ③ 5回



- ① 赤坂町48-10
- ② 42-1545
- ③ 1回



- ① 山室町29-1
- ② 42-0334
- ③ 5回



- ① 横住町39-19
- ② 42-1695
- ③ 3回



- ① 宮谷町61-39
- ② 27-2428
- ③ 4回



- ① 大滝町12-8-7
- ② 43-0456
- ③ 1回



- ① 家久町74-16
- ② 23-1688
- ③ 3回



- ① 国府二丁目4-16
- ② 22-3031
- ③ 4回



- ① 千原町6-1
- ② 42-0865
- ③ 1回



- ① 中平吹町89-23
- ② 22-4863
- ③ 5回



- ① 五分市町25-26-1
- ② 27-2788
- ③ 1回



- ① 粟田部町30-4
- ② 42-0241
- ③ 2回



- ① 家久町89-3-8
- ② 24-2235
- ③ 2回



- ① 轟井町19-1
- ② 43-1161
- ③ 4回

# 一般会計予算 7億9,496万円を補正

	(千円)		
	平成17年9月	平成16年同期	前年比
一般会計(補正後)	17,262,767	25,311,675	31.8%減

## 武生市議会9月定例会の概要

武生市として最後の議会となった、平成17年第5回武生市議会定例会は、8月29日から9月20日までの23日間にかたてて開かれました。

定例会では、市長提出議案として、補正予算案2件、平成16年度各決算認定案14件、条例案3案、一般議案10件、専決承認案3件、人事案1件を審議しました。全ての議案は、本会議の審議または委員会の審査を経て、採決の結果いずれも原案どおり決定または同意しました。

## 予算審議

※(内は質疑をした議員名)

### ■アスベスト対策工事費

5千万円

(玉村議員、前田議員、安立議員)

**問** アスベストに関する予算の内容はどのようなものか。住民への対策について市独自の考えはないか。また、情報提供は考えているか。

**答** アスベストの成分検査や、除去と囲い込み工事の予算である。まずは市が設置責

任者となっている公共施設への対応を第一としたい。民間施設への対応は、県で取り組みがなされているが、不備な点があれば市としても対応を考える。広報たけふ9月号で周知する。

### ■退職手当追加分

5716万円

(玉村議員)

**問** 職員の適正配置についての考えはどうか。市民が困っている状態を適切に把握できる人員配置こそ、定員の適正化ではないか。

**答** 合併協議会では今後10年間で100人の職員削減が確認されている。時差出勤を取り入れることも考えるなど、職員の勤務体制を整備し、市民との対話の機会が数多くできるように配慮をしたい。

## 条例審議

※(内は質疑をした議員名)

### ■武生わがまち基金条例等の廃止について

(中西議員、玉川議員、安立議員)

**問** 紫式部基金条例を廃止する提案だが、紫式部は武生のまちづくりには大きな意味をもつ人物であり、基金は残すべきだ。

**答** これらいくつかの基金の廃止は、今立町との合併協議会の中で確認されているものであり、その経過等を踏まえる中で廃止するものである。紫式部基金が廃止されても紫式部の顕彰活動や式部公園の整備は、今後もしっかり取り組む必要がある。

### ■武生市防犯隊設置条例の制定について

(金子議員)

**問** なぜ今条例化するのか。武生市は、他市町村と比べて報酬と出勤手当が低い水準にあるが、計画的に見直す必要があるのではないか。

**答** これまで規則で定められていたものを条例に格上げし、越前市に引き継ぐものである。報酬や手当については、他市町村の実態を調査し、今後の参考にしたい。

## ▼決算特別委員会を設置

9月定例会に提案された平成16年度各会計決算認定14案を審査するため、決算特別委員会を9月1日に設置しました。選任された委員及び正副委員長は次のとおりです。

- 委員長 長谷川仙一郎
- 副委員長 池田芳男
- 委員 題佛 臣一
- 委員 関利英子
- 委員 西野与五郎
- 委員 玉村 正夫
- 委員 宮本 義利

なお、決算特別委員会は、9月7日、8日、12日、13日の4日間にわたって開かれ、田中収入役ほか関係理事者の出席を求めて審査を行いました。(9頁に関連記事)



決算特別委員会



# 市民を代表して質問します。

## 一般質問

武生市9月定例会では、6人の議員が市の考え方や方針など市政全般について一般質問を行いました。一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現況や将来計画の考え方など、市民生活に密着した問題をただすために行うものです。各議員の質問と理事者答弁を要旨で掲載します。

### アスベスト問題への対策について

諸派・公明党

関 利英子

**Q** 公明党議員団として提出したアスベストの申し入れに対する市の対応は。

**A** 7月から実態調査やアスベスト対応について検討を始め、今回予算案を計上した。また、環境政策課に相談窓口を設置し、速やかに対応した。

**Q** 学校のアスベスト除去工事はどうなったのか。

**A** 学校での除去・囲い込み工事は、工事の専門性、特殊性から業者が限られ遅れた児童生徒の安全が確保できる体制で早期着工を目指す。

**Q** 市内のアスベスト製品製造事業所の安全確認は。

**A** 昨年10月以降はアスベスト製品の加工を中止しており、安全性が確認された。

**Q** この事業所屋外に山積みのアスベスト製品の在庫処理と、創業時からいた従業員や近隣住民の健康調査の実施と調査の継続をすべきである。

**A** 今後とも県と連携し、きちんと対応していく。

### 進修学園の運営について

無所属

題佛 臣一

**Q** 新法人の役員体制はどうなっているのか。諸問題が発生した場合、誰が責任を持つのか。なぜ民営化なのか。

**A** 役員は、医師や社会福祉士、福祉活動団体の代表者、地元代表、行政のOBといった方々が就任すると聞いている。責任は新法人が持つが、指定管理者制度が適用される施設であり、市も一定の責任は担いながら対処する。民間への移行は、入所児童の処遇の向上が第一である。官と民の良さを発揮し、入所している児童に良かったというふうに言っていただけのような指定管理を目指したい。

**Q** 市民活動推進助成金はどうのような形で決定されるのか。

**A** 交付要綱に基づき、民間の人による審査会を設け、そのメンバーの合議結果をもとに、事業費の5分の4以内で50万円を限度として交付を決定している。

### 国保税の改善について

諸派・共産党

玉村 正夫

**Q** 国保税の法定減免については、実態を把握し対処しているか。申請減免制度について分かりやすい周知が必要ではないか。

**A** 法定減免については、3600世帯ほどが対象となっており、課税段階で適正に実施されている。申請減免内容は条例で定めているが、申請の実情を調べ、周知に関しては検討する。

**Q** 介護保険事業計画が策定されるが、高齢者や事業者の実態を十分に反映させることが必要ではないか。

**A** アンケート調査の結果を考慮し、策定委員会に諮る。保険料は抑制したいが高齢者の増加やサービスの質と量の問題もあり、国の方針が出された段階で示したい。

**Q** 10月から施設入居者の部屋代、食事代の自己負担が始まるが、低所得者への対応は。

**A** 国の負担軽減の配慮の中で対応できる。

### 中学生のヘルパー3級取得に向けて

無所属

安立 里美

**Q** 介護保険制度の見直しにより、介護保険外の施策の充実が必要だ。地域で支え合うマンパワーを充実させる環境づくりとして、中学生ヘルパー3級取得事業を実施している自治体が増えていますが、取り組めないか。

**A** 非常に良い取り組みである。関係機関との協議も必要であり、資格が取得できる道筋がどのように描けるのか、内部でも議論を深めたい。

**Q** 合併後の市民バスを、市民の利便性を確保すべき。

**A** 利用者の声や運輸局の助言を得ながら、平成18年度中に試行運転を行い、早い時期で本格実施をしたい。

**Q** 現在、民間団体が高齢者や障害者の外出支援を実施しているが、来年4月から国土交通省の許可が必要となる。市としての対応は。

**A** 継続のために、運営協議会を設置し、18年3月に認可申請を行う予定である。

### 大型店の出店計画について

諸派・共産党

前田 修治

**Q** サンドーム南側への大型店出店計画に対する現状と対応は。出店計画抑制に関する要望書が商工会議所から出されているが、どう受け止めているのか。

**A** 今年1月に宅地開発発行の許可のための事前協議の申請が出され、現在協議中である。要望は重く受け止め真摯に対処する。これからのまちづくりや商業振興に向けた取り組みに最善を尽くしたい。

**Q** 国保税の滞納者に対して、医療費一部負担金貸付制度の適用がされていない実態や、高額療養費についてもその支給金を未納額に充当させるように求めるのはおかしい。改善せよ。

**A** 国保制度は相互扶助の原則に基づいて運営されるべきものである。貸付金制度や高額療養費の問題については、個別の実態をより把握する中で、当事者と相談しながら対応している。

### ハート・プラスマークの普及について

諸派・公明党

関 正美

**Q** 心臓や腎臓、呼吸器など体の内部に重い機能障害を持つ「内部障害者」は、外見では健康者と変わらないため、日常生活で誤解を生じる場合もある。「ハート・プラスマーク」の普及やカードの提供など、心の通う福祉行政が必要ではないか。

**A** いくことは必要であり、マークが普及できるように内部で検討したい。カードの提供については、障害者の団体や県などと情報交換を行う中で、その必要性について十分見きわめていきたい。現地現場主義を基本とし、障害者の立場に立った窓口対応も含め、きめ細かい福祉に努めたい。

**Q** 新図書館建設の進捗状況はどうか。ビジネス支援体制についての考えは。

**A** 来年8月には開館の予定である。新図書館では、資料提供やデータベース検索の便宜を図るなど、ソフト面を中心としてビジネス支援体制を構築する。

### 委員会審査

9月議会に提出された議案審査のため、総務文教委員会、福祉民生委員会、産業経済委員会が開かれました。掲載内容は、委員長報告のうち、主なものです。

#### 総務文教委員会

#### ■紫式部基金の廃止について

今回の提案に至った経緯について、再度確認がなされ、理事者からは、これまでに基金を活用し、式部像と平安朝式庭園を含めた紫式部公園の整備充実を図ってきており、公園の整備事業については、一応終了したものと理解している。また、平成7年度以降、紫式部基金の額に変動はなく、今日までの紫式部顕彰のための関連事業は、一般会計の中で予算化し事業を促進してきたとの答弁がなされました。

さらに、委員は、この基金は、紫式部公園の整備充実だけでなく、その他の事業の振興を目的としているものであり、幅広く式部を顕彰する事業として、平成8年度の紫式部千年祭や今年18回を迎える

源氏物語アカデミーなど、この基金の趣旨に基づいた事業は、今日まで脈々と続いており、決して目的が達成され、事業が終わっているとは言えない。そうした中、条例が廃止された場合、新市発足後にどういう形で、紫式部基金条例に掲げられた設置目的の保全確保を図っていくのか、ただしました。

これに対し、理事者からは、今後も紫式部を顕彰していくため、市民や市民団体が主体となって取り組む事業や、市

として対応していくべき事業など、広範なものが考えられる。また、市民から寄付があった場合は、その意思を尊重して、新市の基金として存続させる文化振興基金の中で、別途管理運営し活用していくべきと考えている、との方針が示されました。

#### 人事

#### ▼人権擁護委員の候補者の推薦に同意

諏訪大明氏(深草二丁目)

#### 武生市議会9月定例会の審議議案

◎満場一致可決・同意 ○賛成多数可決

#### 《予算》

- ◎平成17年度武生市一般会計補正予算(第3号)
- ◎平成17年度武生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

#### 《決算》

- 平成16年度各会計決算認定案14案(これらのうち、一般会計や水道、簡易水道、下水道、農業集落排水、林業集落排水の各事業会計は賛成多数で可決)

#### 《条例》

- ◎武生市防犯隊設置条例の制定について
- ◎武生わがまち基金条例等の廃止について
- ◎武生市公民館等使用条例の一部改正等について

#### 《一般議案》

- ◎武生市・今立町合併協議会の廃止について
- ◎福井県丹南広域組合からの脱退及び同組合への加入について
- ◎武生三國モーターボート競走施行組合からの脱退及び同組合への加入について
- ◎南越清掃組合からの脱退及び同組合への加入について
- ◎鯖江広域衛生施設組合への加入について
- ◎公立丹南病院組合からの脱退及び同組合への加入について
- ◎南越消防組合からの脱退及び同組合への加入について
- ◎福井県市町村非常勤職員公務災害補償組合からの脱退について
- ◎福井県市町村交通災害共済組合からの脱退について
- ◎武生・鯖江地区介護認定審査会からの脱退について
- ◎専決処分の承認を求めることについて(平成17年度武生市一般会計補正予算(第2号))
- ◎専決処分の承認を求めることについて(平成17年度武生市下水道特別会計補正予算(第1号))
- ◎専決処分の承認を求めることについて(平成17年度武生市水道事業会計補正予算(第1号))

#### 《人事案》

- ◎人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

# 一般会計予算 2億9,605万円を補正

(千円)

	平成17年9月	平成16年同期	前年比
一般会計(補正後)	3,635,464	5,485,079	33.7%減

## 今立町議会9月定例会の概要

今立町として最後の議会となった平成17年第4回定例会は、9月8日から9月15日までの8日間にわたって開かれました。

定例会では、町長提出議案として、補正予算案6件、平成16年度決算認定案2件、条例案7件、一般議案18件、専決承認案2件を審議しました。全ての議案は、本会議・委員会の審査を経て、採決の結果いずれも認定・可決しました。

## 予算審議

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ2億9605万円を増額し、この結果予算総額は、36億3546万円となりました。補正の主なものは、次のとおりです。

### ■指定管理者制度により債務負担行為を設定

公の施設の「指定管理者」の指定に伴い、それぞれの施設の管理運営委託料について、下記の表のとおり<sup>※</sup>債務負担行為を設定されました。

<sup>※</sup>債務負担行為とは、主として、事業または支出の予定が不確定である場合、あるいは財源の状況によって事業の伸縮を弾力的に行う必要がある場合等に、議会の議決を経て、後年度までの債務を負担する行為を設定すること。

## 指定管理者の指定及び債務負担行為

施設名	指定管理者	期間	管理運営委託限度額(千円)
今立町児童館	今立町社会福祉協議会	平成17~19年度	55,331
今立町老人福祉センター	今立町社会福祉協議会	平成17~21年度	69,939
今立町健康福祉センター	今立町社会福祉協議会	平成17~21年度	95,205
今立町農業特産物研修センター	福井県和紙工業協同組合	平成17~22年度	30,278
今立町和紙の里会館	福井県和紙工業協同組合	平成17~22年度	31,680
今立町卯立の工芸館	福井県和紙工業協同組合	平成17~22年度	30,481
粟田部コミュニティセンター	粟田部協議会	平成17~22年度	1,650

## 議案審議

### ■和紙の里3館の指定管理者に福井県和紙工業協同組合を指定

<sup>※</sup>指定管理者制度に基づき指定管理者を指定したいとの条例が提案され、全会一致で可決しました。詳しくは左の表のとおりです。

### 今立町議会9月定例会の審議議案

◎満場一致可決・同意 ○賛成多数可決

#### 《予算》

- ◎ 平成17年度今立町一般会計補正予算(第5号)
- 平成17年度今立町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ◎ 平成17年度今立町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ◎ 平成17年度今立町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- ◎ 平成17年度今立町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
- ◎ 平成17年度今立町水道事業会計補正予算(第2号)

#### 《決算》

- ◎ 平成16年度今立町一般会計並びに特別会計決算の認定について
- ◎ 平成16年度今立町水道事業会計決算の認定について

#### 《条例》

- ◎ 今立町教育施設整備基金条例を廃止する条例の制定について
- ◎ 今立町ふるさと水と大地保全対策基金条例を廃止する条例の制定について
- ◎ 今立町企業立地基金条例を廃止する条例の制定について
- ◎ 今立町下水道整備基金条例を廃止する条例の制定について
- ◎ 今立町簡易水道整備基金条例を廃止する条例の制定について
- ◎ 今立町立製紙試験場設置条例を廃止する条例の制定について
- ◎ 今立町立製紙試験場手数料徴収条例を廃止する条例の制定について

#### 《一般議案》

- ◎ 武生市・今立町合併協議会の廃止について
- ◎ 今立町老人福祉センター今寿苑の指定管理者の指定について

- ◎ 今立町児童館の指定管理者の指定について
- ◎ 今立町健康福祉センターの指定管理者の指定について
- ◎ 今立町農業特産物研修センターの指定管理者の指定について
- ◎ 今立町和紙の里会館の指定管理者の指定について
- ◎ 今立町卯立の工芸館の指定管理者の指定について
- ◎ 粟田部コミュニティセンターの指定管理者の指定について
- ◎ 福井県市町村職員退職手当組合からの脱退について
- ◎ 福井県市町村非常勤職員公務災害補償組合からの脱退について
- ◎ 福井県市町村交通災害共済組合からの脱退について
- ◎ 福井県丹南広域組合からの脱退及び同組合への加入について
- ◎ 武生・鯖江地区介護認定審査会からの脱退について
- ◎ 公立丹南病院組合からの脱退及び同組合への加入について
- ◎ 鯖江広域衛生施設組合からの脱退及び同組合への加入について
- ◎ 南越清掃組合からの脱退及び同組合への加入について
- ◎ 南越消防組合からの脱退及び同組合への加入について
- ◎ 武生三国モーターボート競走施行組合への加入について
- ◎ 専決処分の承認を求めることについて(平成17年度今立町一般会計補正予算(第3号))
- ◎ 専決処分の承認を求めることについて(平成17年度今立町一般会計補正予算(第4号))

# 委員会報告

今立町  
9月定例会

各委員会に付託された議案は全て原案のとおり了承しました。主な審議内容は次のとおりです。

## 総務文教常任委員会

伊藤康司 委員長

### ■平成17年度補正予算

#### 〔総務課関係〕

- ・土地購入費 1538万6千円
- 分譲した千原の宅地1筆341㎡が解約されたことにより、県土地開発公社との買い戻し特約に基づきその予算を補正。
- ・財政調整基金積立金 2億3246万8千円

- ・教育施設整備基金や簡易水道基金の取り崩し分、並びに前年度繰越金を財源として充当。
- ・町有財産売却収入 4398万8千円

南三里ニュータウンほか3筆1613.3㎡の売却代。

- ・一般寄付金 100万円
- 粟田部の酒井元氏（はら）からの寄付金。

#### 〔企画財政課関係〕

- ・内部情報系ネットワーク構築業務負担金 1140万円
- ・丹南広域電算システム構築業務負担金 2620万円
- 合併に伴い電算システムを整備するもので、武生市と今立町がそれぞれ2分の1を負担。
- ・公債費 町債の元金償還金 1035万8千円
- 政府資金の追加償還分。

#### 〔税務課関係〕

- ・精算による納期前全納報奨金 9千円

#### ■指定管理者の指定

「粟田部コミュニティセンター」について、建設の際の経過やこれまでの管理運営状況から、現行どおり「粟田部協議会」を指定管理者として指定したいとの提案があり、これを了承しました。

南中山小学校改築に関する請願書

#### ▼審査結果は継続審査

9月1日付で南中山地区振興協議会ほか二団体より提出されたこの請願書は、南中山小学校の改築を、平成20年の創立100周年に間に合うよう推進してほしいというものです。

なお、この内容については、すでに6月定例会において、同趣旨の要望書が提出され、結論が出されているほか、合併協定項目の新市建設計画で優先事業として記載されており、定例会初日に町長が行った行政報告あるいは地元説明会等においても、具体的に改築を明言しています。

## 厚生経済常任委員会

木野勲治 委員長

### ■平成17年度補正予算

#### 〔住民課関係〕

- ・人件費の調整並びに国保基金の利子積立が主なもの

#### 〔健康福祉課関係〕

- ・高齢者保健福祉基金及び介護保険基金の利子積み立てが主なもの

#### 〔産業振興課関係〕

- ・林業施設災害復旧費13万円
- 災害査定後さらに被災した林道奥谷線の追加復旧工事費を補正。
- ・観光費

和紙の里会館改修工事の財源として、国の森林づくり交付金2000万円が認められたので、財源を更訂。

#### 〔上下水道課関係〕

- 〔下水道事業特別会計補正予算（15万4千円）
- 主に受益者負担金還付金15万円を補正したもの。
- 〔簡易水道事業特別会計補正予算（1718万4千円）
- ・月尾簡水のメーター取替えに伴うメーター器購入費 17万7千円
- ・一般会計繰出金 1700万7千円

基金取り崩し分及び前年度繰越金を合わせて一般会計に繰り出し、財政調整基金に積立てるもの。

#### 〔水道事業会計補正予算〕

合併に伴う仮決算により、原価償却費や消費税などを補正。

#### ■指定管理者の指定

「児童館」、「健康福祉センター」及び「老人福祉センター」今寿苑の指定管理者として、「今立町社会福祉協議会」に、「和紙の里3館」の指定管理者に「福井県和紙工業協同組合」を指定したいとの提案があり、これを了承しました。審議では、和紙の里3館の職員の取り扱いや、施設を大規模改修する場合の負担はだれがするのか、また維持管理費の追加はあるのか、などの質問があり、職員待遇は協定の条件に、また大規模改修は新市負担、5年後の指定見直し時に維持管理費の見直しはあり得るとの答弁でした。



## 決算特別委員会報告

武生市

## 決算審査特別委員会報告

今立町

決算審査の主な内容は次のとおりです。

## 武生市

本会議での各会計決算認定14案を審査した結果、全て認定すべきものと決しました。掲載内容は、委員長報告のうち主なものです。  
(4頁に関連記事)

## ガス事業会計決算審査

市営ガス事業に従事する職員にあつては、譲渡に至る時期まで、緊張感を維持しながら保安体制に関し、さらに万全を期されるよう強く要望しました。

## 平成16年度武生市一般会計決算認定について

文化振興・施設管理事業団を施設管理事業と文化振興事業とに分離・分割していく方針に対して、市民へのサービス低下につながらないよう、市民のニーズに十二分に応えられる組織体制の整備、支援に努めるよう要望しました。

乳幼児健康支援一時預かり事業における病児・病後児保育について、乳幼児を抱えながら働いている保護者の家庭状況等を考え、市内においてさらに受け入れ病院数が増加することが望ましいと意見・要望しました。

生ごみの資源化モデル事業について、事業の進め方によっては非常に成果が上がるものであることから、このモデル事業を活かし、地域に合った指導方法の検討、情報の提供や交換に努め、各町内でも取り組みやすいような対応をするよう要望しました。

国の農業政策における補助体系の見直し方針に対応した農業経営体の育成について、認定農業者を中心とした集落営農組織の育成強化に取り組んでおり、農業経営体を組織化する動きが各地区で見られる。今後、平成19年度からの国が示す農業政策の方針に対応できるように、農業経営体の法人化推進に、重点的に取り組んでいきたいとの説明が理事者からなされました。

企業誘致について、市として大きな課題であり、これからの市の継続的な発展のためにも、この誘致活動の成功に向けて、条件整備など万全を期した取り組みを行うよう強く要望しました。

歳入について、委員から、16年度の実質収支は、一般会計で約5億8千万円、特別会計も含めると、約6億3千万円となつていふこととあわせて、人件費比率についても、全国平均に比べて低くなつており、その努力は評価に値する。しかし経常収支比率や、義務的経費の数値は高くなつてきていることから、財政の硬直化が進んでいる現状にもあり、今後、自立した都市を目指すための、自主財源の比率向上と税収の確保についてたどりました。

これに対して、理事者からは、自主財源、特に歳入に占める市税の構成比が低迷している中で、市税の収納率向上に向けた庁内特別徴収体制による取り組みとともに、税の公平性の確保に努め、今後も財政の健全化に向けて努力していきたい、との説明がなされました。

町税の収入未済額では、年々増加の傾向にあることから、税務課職員をはじめ、全庁的体制で徴収に鋭意努力しているとの報告であり、いづれにしても、平成16年度は「三位一体改革」初年度ということ、国庫補助金、地方交付税臨時財政対策債が大幅に削減される中で、町税総額と匹敵する10億8904万円という本町財政史上最大の起債償還ピークを迎え、さらに昨年発生した福井豪雨の災害復旧事業費に多額の一般財源を要することにになりました。

## 今立町

林忠男 委員長

平成16年度今立町一般会計・特別会計および水道事業会計の決算について、9月12、14日の3日間にわたり慎重に審査した結果、計数的に正確であり、その内容も適正なものと認め、全会一致をもって審査結果のとおり認定すべきものと決しました。

また、各特別会計においても、健全財政の維持に努められていました。

水道事業会計決算では、給水戸数3642戸、年間給水量146万トン、配水量は125万トンで、有収率は85.6%となり、福井豪雨災害による影響もあり、2.6%有収率が減少しています。

職員数の削減、また、保育所の民営化等による人件費の削減、町単独補助金、助成金の一律一割カットの実施等、経常経費全般について節減合理化を図るとともに、遊休町有地の売却等による新たな財源確保に努め、並々ならぬ計画的な努力により、過去に例のない財政的な難局を乗り切ったことは、大いに評価すべきものです。

また、各特別会計においても、健全財政の維持に努められていました。

水道事業会計決算では、給水戸数3642戸、年間給水量146万トン、配水量は125万トンで、有収率は85.6%となり、福井豪雨災害による影響もあり、2.6%有収率が減少しています。

事業収支で見ると、わずかですが、72万円の純利益を生んでいます。今後とも、県水の受け入れ施設整備や老朽管更新事業に伴う整備投資など、多大の経費が予想されるので、町民サービスの向上に努め、安全で良質な水道水を供給されるよう要望しました。



# 武生市、今立町 両議会の永い歴史に幕

## 今立町議会

H17 9.15 (木)



「閉場の辞」を述べる  
福田往世議長



新市への期待感と躍進への願いを込めて、高橋副議長による万歳三唱を行う

## 武生市議会

H17 9.20 (火)



閉会のあいさつを  
行う福田修治議長



最終議会に臨む武生市議会議員



離任あいさつする奈良市長、  
写真の中列右から、福塚助役、  
田中収入役、眞目教育長



閉会后、市旗が降納される

### 市議会を傍聴しましょう

本会議の傍聴は、住所、氏名などを記入するだけで、どなたでもできます。場所は、本庁舎別館6階です。なお、来庁時はなるべく公共交通機関の利用または乗り合わせでお越しください。

### 丹南CATVで本会議を放映

本会議の様子は、丹南CATVコミュニティチャンネルでご覧いただけます。

※第1回臨時会の内容は、越前市議会ホームページをご覧ください。11月15日発行予定の議会だよりでもお知らせします。

この臨時会では、初代となる議長、副議長の選挙や、各常任委員会・特別委員会を設置し、各所属委員を選任します。

平成17年第1回越前市議会臨時会は、10月11日から開催されています。

### 第1回臨時会を開催

問合先 市議会事務局  
☎(22)3426

100 市議会だよりは、資源保護のために再生紙を使用しています。資源として活用できますのでリサイクルにご協力ください。